

印南 一路 インナミ イチロ

慶應義塾大学 総合政策学部教授／政策・メディア研究科委員

生年 1958年

学位 Ph.D. (シカゴ大学経営大学院, 1992年)

主な兼職 医療経済研究機構研究部長、経済財政諮問会議一体改革推進委員会社会保障WG 特別委員、高齢者医薬品適正使用検討会委員 (座長)、政策評価にかかる有識者会議委員 (医療・公衆衛生WG座長)、健康寿命の延伸の効果にかかる研究班委員、中央社会保険医療協議会公益委員(2011-2017)

略歴 【学歴】

東京大学法学部 (1982年)

ハーバード大学行政大学院 (1988年)

シカゴ大学経営大学院 (1992年)

【主な前職】

株式会社富士銀行, 旧厚生省, シカゴ大学経営大学院助教授, スタンフォード大学客員研究員、株式会社キングジム社外取締役

専門分野 意思決定論・交渉論・組織論、医療福祉政策

主要著作・論文・作品 [意思決定論]「交渉学が君たちの人生を変える」(大和書房、2018年) 他, "Determinants of the quality of group decisions and the effect of the Consensual Conflict Resolution Intervention technique." Academy of Management Best Papers Proceedings (1992年) (米国経営学会組織論部門最優秀博士論文賞).

〔医療政策〕「再考・医療費適正化—実証分析と理念に基づく政策案」(有斐閣編著, 2016年)「生命と自由を守る医療政策」(東洋経済新報社, 2011年)「『社会的入院』の研究」(東洋経済新報社, 2009年 第52回日経・経済図書文化賞、2010年 第1回政策分析ネットワーク賞本章、義塾賞、2019年韓国語訳)「人口構造の変化を踏まえた医療提供体制の戦略的構築」(厚生労働科学研究, 2010-)「国、都道府県の医療費適正化計画の重点対象の発見に関する研究」(厚生労働科学研究, 2008-2010)「寝たきり老人発現率の地域格差と環境要因構造に関する探索的データ分析」(医療と社会, 1999年)「医薬品の研究開発と情報共有・知識創造」(医療と社会, 1997年)「医療費の決定構造と地域格差」(医療と社会, 1997年)「日本の医薬品産業に対する研究開発政策の可能性」(医療と社会, 1996年)「日米の医療費の支払方式」(日本製薬工業協会 1991年) (吉村賞)「医療政策の形成に関する研究—ネットワーク間闘争による政策形成」(日本製薬工業協会 1990年)「米国の医療費保障—変わる政策態度と産業構造」(日本医療文化センター1987年)